

海辺の縄文遺跡 — 岩瀬天神遺跡 —

岩瀬天神遺跡は、富山市の岩瀬浜のすぐ近くに位置する縄文時代後期～晩期の集落跡です。これまで行った発掘調査の成果から、海辺で営まれた当時の暮らしの様子などを探ります。

会期

令和8年 令和9年
7/22 (水) ▶ 1/31 (日)

会場

北代縄文館 (富山市北代縄文広場)

(富山市北代 3871-1 TEL 076-436-3664)

開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

入館料：無料

休館日：月曜日(祝日を除く)

祝日の翌日(土曜日・日曜日の場合は開館)

12/28～1/4

●主な展示品

縄文土器、土偶、砥石、石皿

石錘(魚を捕る網に付けるおもり)

磨製石斧(木を切る石器)

磨石(クルミやどんぐり等をすりつぶす石器)



平成4年の発掘調査地



■北代縄文館への交通案内

車・富山駅(JR、あいの風とやま鉄道)から約10分
・北陸自動車道富山I.C.から約30分
バス・富山駅(JR、あいの風とやま鉄道)から約20分
〔富山地方鉄道 四方、国立高専射水、新湊東口行
北代下車〕、徒歩10分



岩瀬天神遺跡の主な出土遺物



北代縄文広場



埋蔵文化財センター